

# 地域のジェンダー平等意識変革等加速化事業【山口県】

総事業費	2,119 千円
交付金額	1,059 千円

### 地域の実情と課題

○若年女性若年女性の首都圏への転出超過などの背景には、地元での「固定的な性別役割分担意識」に基づく無意識の思い込みを直視することを回避する行動があると考えられ、地方での急速な人口減少・少子化の進行の一因とされている。

○県が実施した「男女共同参画に関する県民意識調査」(R1)によると、「男は仕事、女は家庭」という考え方(固定的な性別役割分担意識)について、反対が54.4%、賛成が35.5%と、反対が大きく上回っており、10年前(反対45.4%、賛成44.8%)と比べて改善傾向にあるが、九州地域戦略会議が実施した「6歳未満の子を持つ夫婦の家事・育児時間調査」(R5)によると意識と行動に乖離が見られることがわかった。

### 目的・目標

○県民の実体験に基づくエピソード(成功事例)を映像化し発信することで、県民の行動変革に繋げることが狙い。

- ・目標:啓発表示総回数211万回 (R8.3時点:180万回)

○人口減少・少子化の急速な進行や若年女性の首都圏への転出超過などの背景にある固定的性別役割分担意識やアンコンシャス・バイアスを解消し、女性がより一層活躍できる地域社会を構築する。

- ・目標:セミナー参加者数 120人、(実績:100人)
- 固定的な性別役割分担意識の減少 (27%(R6)→減少させる)

### 事業の特徴

①「わたしたちの家事・育児エピソード選手権」の開催

**【概要】**  
男女が共に家事・育児を分かち合う社会の実現のため、実体験に基づいた「共家事・共育児」のエピソードを募集し、審査によって選定した作品を映像化し、テレビ、SNS等を活用して積極的に発信する。

②県内全域を活動区域とし、女性の活躍促進や権利擁護、地域課題の解決などに取り組む女性団体の協議会と連携し、各構成団体と協力してセミナーを開催。

### 連携団体

山口県男女共同参画推進連携会議、山口県自治会連合会、山口県少年団体活動振興協議会、山口県女性団体連絡協議会、山口県社会福祉協議会、山口県保育協会、山口県病院協会、山口県医師会、山口県歯科医師会、山口県薬剤師会、山口県経営者協会、山口県商工会議所連合会、山口県商工会連合会、山口県中小企業団体中央会、山口県経済同友会、日本労働組合総連合会山口県連合会、山口県農業協同組合中央会、山口県森林組合連合会、山口県漁業協同組合、山口県建設業協会、山口県建築士会、山口県私立幼稚園協会、山口県私立中学高等学校協会、山口県専修学校各種学校協会、山口県私立大学協会、山口県PTA連合会、山口県公立高等学校PTA連合会、山口県市長会、山口県町村会、山口県連合婦人会、山口県商工会女性部連合会、(一財)山口県母子寡婦福祉連合会、やまぐちネットワークエコー、北京JAC山口、山口県消費者団体連絡協議会、山口県地域消費者団体連絡協議会、NPO法人やまぐち男女共同参画会議

### 事業の効果

○共家事・共育児に係る県民の実体験に基づく好事例(エピソード)の募集について、県民から58件の応募があり、審査委員会の元、3作品を選定した。3作品のSNSによる啓発表示総回数については180万回程度となり、多くの方に動画を視聴してもらうことができ、男性の家事・育児参画への啓発に繋がった。

○参加者からは、自分の周囲にこうしたロールモデル的な方がいらっしゃるとは知らなかったので、すごく身近に感じたと、自分でもできることがあるのではないかと勇気をもらえた」との意見が複数あり意識改革に繋がった。

### 今後の課題

○今回の事業において、多くに県民に動画を見てもらうことができ、意識啓発を促すことができたが、事業目標の固定的な性別役割分担意識の改革をさらに進めていくためには、様々な手法を用いて、引き続き意識の啓発に努めていく必要がある。

○固定的役割分担意識を変えていくためには、男性女性双方の意識改革が必要であり、多くの人にその認識を持ってもらうことが重要。実施してすぐに成果が出るものではないため継続的に、最大限の機会を得ながら啓発していく必要があると考える。

# 事業の概要

## ○「わたしたちの家事・育児エピソード選手権」の開催

### 【概要】

・男女が共に家事・育児を分かち合う社会の実現のため、実体験に基づいた「共家事・共育児」のエピソードを募集し、審査によって選定した作品を映像化し、テレビ、SNS等を活用して積極的に発信する。

### 【募集部門】

- ・若年層へ向けたエピソード
- ・子育て世代へ向けたエピソード
- ・シニア世代へ向けたエピソード

### 【応募状況】

- ・応募期間 令和7年6月～9月
- ・応募数 58件(若年層:13件、子育て世代:34件、シニア世代:11件)

### 【完成作品】

- ・若年層部門「そして、今」
- ・子育て世代部門「できる時に、できる人が、できることを」
- ・シニア世代部門「気づいた時」

### 【完成作品の活用方法】

- ・県HP内の特設サイトに掲載
- ・SNS、テレビ等を用いた情報発信

若年層 『そして、今』



子育て世代 『できる時に、できる人が、できることを』



シニア世代 『気づいた時』



## ○男女共同参画パワーアップ講座の開催

- ・社会制度や慣行は、男女共同参画の視点から見ると、固定的な性別役割分担意識や性差に関する偏見等を反映して、結果的に男女に中立に機能しない場合がある。
- ・固定的な性別役割分担意識は、「無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）」が要因とされていることから、県民のアンコンシャス・バイアスの解消につながる講座を開催し、男女の置かれた社会的状況の格差の解消やジェンダー平等の実現を目指す。

### 【内容】

開催日：令和8年1月24日（土）

参加者：100人

講演：「キラリ個性！誰もが自分らしく輝く社会へ」 講師：樋口紀子氏

事例発表&トークセッション：荒瀬澄枝氏 JA山口県大内ブルーベリー生産部会長

京井和子氏 グリーフサポートやまぐち代表

### キラリ個性！ 誰もが自分らしく輝く社会へ

～令和7年度 山口県男女共同参画パワーアップ推進事業～

～ 目的 ～  
社会制度や慣行は、男女共同参画の視点から見ると、固定的な性別役割分担意識や性差に関する偏見等を反映して、結果的に男女に中立に機能しない場合がある。固定的な性別役割分担意識は、「無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）」が要因とされていることから、県民のアンコンシャス・バイアスの解消につながる講座を開催し、男女の置かれた社会的状況の格差の解消やジェンダー平等の実現を目指す。

基調講演「キラリ個性！誰もが自分らしく輝く社会へ」  
講師：樋口紀子氏（海光学数理学長・理事長）

#### 講師プロフィール

海光学数理学長・理事長  
1962年に山口県立山口大学文学部数理学科卒業。  
1984年からアジア社会開発アジア・パシフィック大学(現福岡大学)を経て、海光学数理学科・数理学部教授。  
2004年に山口県立山口大学文学部数理学科の学部長に就任。  
1997年、海光学数理学部数理学科長に就任。数理学部教授、2004年、海光学数理学部数理学部教授に就任。  
2004年に山口県立山口大学文学部数理学科の学部長に就任。  
2017年、海光学数理学部数理学科の学部長に就任。2021年には、海光学数理学部数理学科の学部長に就任。NPO法人数理学部数理学科の学部長に就任。NPO法人数理学部数理学科の学部長に就任。

#### ～ 事例発表 ～

JA山口県大内ブルーベリー生産部会長 荒瀬澄枝氏  
グリーフサポートやまぐち代表 京井和子氏

日時：令和8年1月24日（土）  
午後13時30分～16時00分

会場：山口県県民教育文化会館（6ホール）  
参加費：一般県民190名程度（参加費：無料）  
主催：山口県女性団体連絡協議会・山口県

